

教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒



令和6年度の重点方針

(1) 学力向上

令和6年度江戸川区教育課題実践推進校 研究課題「学力向上」

未来を主体的に生き抜くために～自ら進んでよく学ぶ生徒の育成を目指して～

- ① 「令和の日本型学校教育」の推進
 - ・ 教員は、生徒一人ひとりの主体的・対話的で深い学びを最大限に引き出しながら、支援し伴走する「ファシリテーター」となる。
 - ・ 全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ② 指導と評価の一体化
 - ・ ルーブリック評価による学習のねらいや評価項目の提示と評価の工夫
 - ・ 単元テストの実施
- ③ ICT活用の推進 授業支援ソフト「ミライシード」の積極的活用
- ④ PDCAサイクルによる自己管理能力を育成する自己管理ノート(Foresight 手帳)

(2) 生徒に寄り添う指導の推進

- ① 共生社会の実現を目指した学びのユニバーサルデザインの推進
- ② 多様性社会を踏まえ、過度の同侪同質思考から抜け出す寛容さの涵養
- ③ いじめ・不登校が生じない魅力ある学校・学年・学級づくりの推進
- ④ 不登校対応の推進（不登校対応加配配置校3年目）「エンカレッジルーム」の充実

令和6年度の重点方策

- 誰一人取り残さないための学力向上アクションプラン
- 指導と評価の一体化（ルーブリック評価、授業評価アンケートなど）
- 「めあて、何のために学ぶのか」など学習目標・内容・評価項目等の明示
- 問題解決学習・探究的な学習など創意工夫した授業の展開、話し合い活動などの協働的な学びや自由進度学習など個別最適な学びの実践
- 積極的なミライシードやTeamsなど授業でのICT(一人一台端末)の活用
- 主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善の推進
- 数学科の少人数・習熟度別授業の充実とALTと連携した授業の推進
- 自己管理ノートの活用による家庭学習習慣の定着、「家庭学習のすすめ」の配布、電子ドリル(ドリルパーク)の活用、外部委託の数学・英語の放課後補習教室
- 音楽、美術、技術・家庭の学習指導を通して芸術の表現や鑑賞、ものづくり体験を通し創造力や感性を磨き、創意工夫し自己の表現力を高め豊かな情操を養う。
- 保健体育科の男女共習授業では健康に関心をもち運動に親しみ体力向上を図る。
- 国語、数学、英語等で80%以上の正答率を目標としたコンテストの実施
- 道徳教育推進教師を中心に、教員がローテーションで実施する「考える道徳」「議論する道徳」授業の推進
- SDGsの課題解決に向けた総合的な学習の時間
- 探究的な学習活動を中心とした読書科の推進



はるえアクション・スローガン

【は】っけん(発見)・気付く

→ 自己理解(セルフ・アンダースタンディング)

- 自己肯定感や自己有用感の向上
- 周囲の事象について広く深い理解・自己基盤(自分軸)の形成
- 課題発見、様々な課題解決に向けた目標設定、主体的・探求的に取り組むための知識・技能や思考力・判断力・表現力の育成

つな【る】

→ 自己管理(セルフマネジメント)&自己学習(セルフ・スタディ)

- 目標に向かってやり続ける自ら考え行動する生徒
- PDCAサイクルによる自己管理できる自ら進んでよく学ぶ生徒
- 他者と円滑につながり、行動できるコミュニケーション能力

【え】がお(笑顔)を創り出す

→ 幸せ(ウェル・ビーイング)の探究

- 多様な人々が共に生きる共生社会の実現
- 互いに助け合えあえる思いやりと優しさの涵養
- トライ&エラーを繰り返しながら挑戦するポジティブ思考力

- 責任ある自由を踏まえた特別活動・学級活動・生徒会活動
- 学校行事や学年行事では、コミュニケーション能力や調整力を育み、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、よりよい集団や社会の形成者に育てる。
- こども基本法、生徒指導提要に基づいた発達支持的生徒指導、課題予防的生徒指導など生徒に寄り添う指導や支援の推進
- いじめの根絶を目指す教育相談体制
- 教育支援委員会を中心とした特別支援教室やエンカレッジルームの充実（やむを得ず学校に登校できない生徒や特別な支援や配慮を要する生徒に応じた適切な支援の実施）
- 学びのユニバーサルデザインの推進
- 安全教育や防災教育の推進
- キャリア教育(主体的な進路選択と自己実現に向けた生徒支援)
- 9年間の子供の成長を見通した小中連携教育の充実
- よりよい共生社会の実現をめざした学年ごとの人権教室、日本の調べ、税理士による租税教室、江戸川区選挙管理委員会と連携した生徒会役員選挙、命の支援係によるSOSの出し方教育教室など生徒への豊かな学びの場の提供
- ボランティアTシャツによる生徒の地域行事への積極的な参加
- 部活動ガイドラインを遵守し生徒の特性や個性を伸ばさせる部活動
- 学校ホームページやTetoruなどによる積極的な情報発信
- 学校関係者評価を実施し、保護者や地域の要望に応える学校づくり
- 全ての人のウェルビーイングを目指した教育活動の推進

目指す生徒の姿

○ 「自ら進んでよく学ぶ生徒」を育成するために

生徒が各教科の見方・考え方を働かせ、興味・関心・探求心をもって授業に臨むように積極的にICTを活用し、学ぶ喜びや楽しさを実感させ、主体的・対話的で深い学びにつながる授業を推進し、基礎学力の定着と確かな学力の向上を図る。

生徒自らが課題を発見するとともに、主体的にその課題や問題を解決していく力を育成する。周囲とともに考えたり、発表したり、疑問や意見を話し合う授業を行う。

先を見通して行動できるセルフマネジメント(自己管理能力)の習得を目指し、自己管理ノートを活用しながら、生徒自身が目標に向かって自分で考えた計画を実行し、成功・失敗体験を得ながらPDCAサイクルで自己管理させ、家庭学習習慣を定着させ自己学習力を高める。

○ 「協力して働く生徒」を育成するために

学級活動、学校行事に加えて、地域の方と生徒が直接つながるボランティア活動を通して、生徒の自主性や協調性を育み、自己有用感・自己肯定感を高め、地域社会に貢献できる意欲と態度を育む。

○ 「規律を守り、責任を重んずる生徒」を育成するために

「責任ある自由」の下、生徒自らが自分で考え、その場の状況に臨機応変に対応し、自らの行動を適切に律し、その責任を果たせるように、学校の教育活動全体で自主・自律の精神や社会生活で必要となる社会的資質・能力を育成する。

○ 「心身ともに健康で、思いやりのある生徒」を育成するために

基本的な生活習慣の確立や体育・食育・保健が一体となって健康教育を推進していく。「2100年の江戸川区(共生社会ビジョン)」の実現に向けて、教育活動全般を通し、人権尊重の精神と思いやりの心、豊かな心と感性を育成する。

目指す学校像

「未来を主体的に生き抜く力を育む学校」

誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育を目指し、時勢の流れにのって受け身の生活を送るのではなく、自分の未来をデザインし、高き理想や自己目標を実現させるため「頑張るときはいつも今」と自らを鼓舞し、未来を主体的に生き抜く力を育成します。そのため、生徒一人ひとりの自己理解力(自分のよさや可能性に気付かせる)、自己管理能力(自分の課題を見つけ、自分で解決策を考え、目標管理させる)、自己学習力(自ら学び、行動できる)を育成します。

